

表2 関連対策 (1) 酪農関係

	21年度
とも補償	20円/kg 30円/kg (28億円)
都府県対策	○とも補償 (28億円) ○不需要期対策 2,400円/頭 (12億円) ○酪農生産基盤対策 (10億円)
生乳需要構造改革事業	19・20・21年度計 244億円
(チーズ等奨励金)	(21年度 86億円)

(2) 肉用牛関係

	21年度
子牛経営対策	・販売子牛に着目 ・40万円または県平均との差額 ・1・2・3・4・5万円/頭 ・(4・5万円は若齢繁殖雌牛) (79億円)
肥育経営対策	マルキン事業 (174億円)
	補完マルキン事業 (318億円)
	生産性向上等に対し 10,000円/頭 早期出荷等に対して 7,000円/頭
	計 17,000円/頭 (128億円)

(3) 養豚関係

	21年度
肉豚価格差補てん事業	さらに 43億円を追加
	地域保証価格 490円/kg

(4) 飼料基盤対策等 - 1

	北海道の場合	21年度※
草地改良(更新)対策(土壌改良資材費、マメ科牧草等の導入経費の助成)	公社利用、マメ科牧草へ転換	10万円/ha
	簡易更新	5.7万円/ha
	公社利用、青刈りとうもろこしへ転換	10万円/ha

(4) 飼料基盤対策等 - 2

	20・21・22年度計 134億円	
生産性向上リース(1/3リース事業)	うち 20年度 70億円	21年度 64億円を前倒し